

フレイル予防や改善を目的とした新たな事業の検討について

1. 趣旨

本市では、第 7 期介護保険事業計画（案）の重点目標として「フレイル対策を含めた介護予防の推進」を掲げており、市民一人ひとりが自らの問題として取り組んでいけるよう、フレイル対策を含む介護予防の重要性について啓発を推進し、早期予防に取り組む必要がある。

このため、新たな取組として、フレイル予防や改善を目的とした新たな事業を検討する。

2. 新たな事業の概要（案）

第 3 回総合事業サービスワーキンググループでいただいたご意見も踏まえ、下記事業の創設を検討する。

（主なご意見）

- ・銭湯やフィットネスクラブを活用している市町村もある。
- ・自分の好きなこと、楽しいことは続く。男性は、縛られたり、強制されたりというのは嫌な方が多い。団塊の世代の男性が通える場所が、これからは優先度が高いと思う。

（1）一般介護予防事業

65 歳以上の方を対象に、月 1 回程度、イベント的に、フレイルチェックや体力測定、運動指導を行う、スポーツ施設等を活用した事業。

また、地域で自主的に体操などの活動をされているグループに対して、講師を派遣し、体操の方法等を指導する。

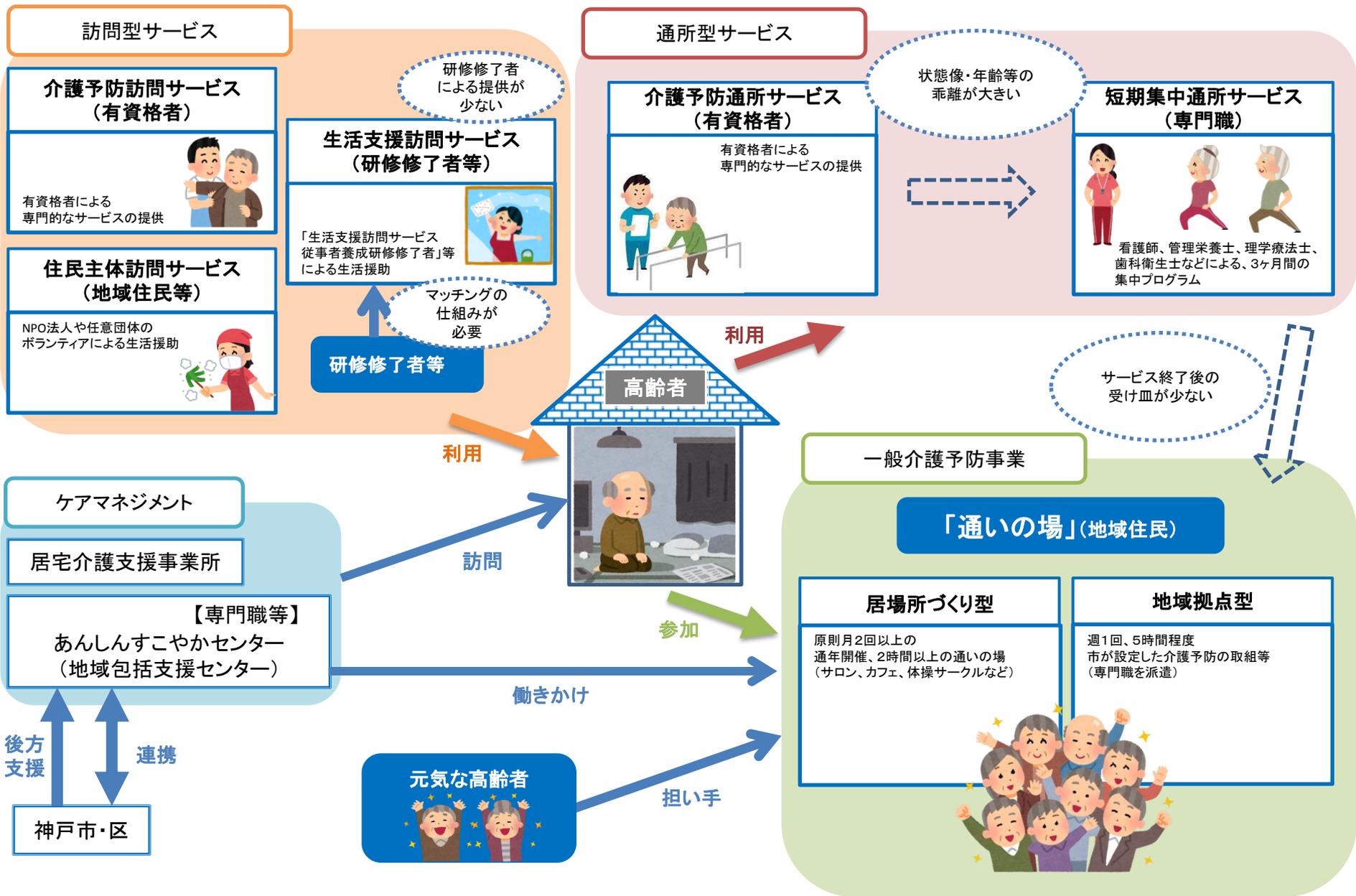
（2）通所型サービス

要支援者等を対象に、フレイル改善のための運動等のプログラムを行う、スポーツ施設等を活用したサービス。

3. 実施時期（案）

平成 30 年度後半

神戸市の総合事業の全体像



スポーツ施設等を活用した新たなサービス等のイメージ(案)

あんしんすこやかセンター (地域包括支援センター)

<社会参加と生活行為の改善を目的とした>

介護予防ケアマネジメント



本人の「したい・できるようになりたい・参加したい」を大切に介護予防ケアマネジメント

マネジメント

スポーツ施設等

フレイル改善のための通所サービス

対象者は、要支援者等

- ・定期的にフレイルチェックを実施
- ・週1回の支援
- ・送迎は、原則なし
- ・スポーツ施設等のノウハウと機能を最大限に生かした運動等を行う、フレイル改善のためのプログラム
- ・男性も通いやすい多様なメニュー
- ・社会参加しやすいしかけづくり

フレイル予防のための一般介護予防事業

対象者は、65歳以上の方

①地域開放型 月1回 イベント的に開催

- ・フレイルチェックを核とした体力測定
- ・フレイルチェックを踏まえた個別運動アドバイス

②地域出張型

- ・地域のつどいの場へ講師派遣

支援

相談

相談

相談

高齢者



フレイルチェック



フレイルチェックをきっかけに、介護予防への意欲を高め、気づきを促す働きかけ



※現在は、65歳の方を対象に薬局と市民健診集団健診会場で実施

継続支援

住んでいるだけで健康になる地域づくり 社会参加

地域のスポーツの会や趣味の講座等

地域拠点型一般介護予防
(フレイルチェック)

体操などの
自主活動グループ

就労・ボランティア活動等

カフェなどの
地域の通いの場

スポーツ施設など



平成 29 年度 フレイルチェック

1. 概要

健康寿命の延伸に向けて、心身の活力が低下し介護が必要な状態に移行しやすいフレイルを早期に発見し、生活習慣の見直しを促すことを目的としたフレイルチェックを、特定健診と合わせて、65歳の市民に対して実施する（9月中旬に個別案内を送付）。

2. 実施方法

フレイル予防の観点に基づいた各種質問への回答や握力などの測定を、市民健診集団健診会場や医療機関、薬局で実施する。

神戸大学・WHO 神戸センターの共同研究「認知症の社会負担軽減に向けた神戸プロジェクト」に対する協力として、認知機能と生活の質に関するアンケートを実施するとともに、フレイルチェックのデータを提供する。

＜フレイルチェック項目＞

- ・フレイルチェック質問票（基本チェックリストなど）
- ・各種測定：ふくらはぎ周囲長、指輪つかテスト、握力、立ち上がり
だ液ゴックンテスト・咀嚼チェックガム
- ・認知機能と生活の質に関するアンケート（CFI、EQ-5D）

3. 対象者別実施場所・実績（平成 29 年 11 月末現在）

対象者 対象人数	3,200 人 【内訳】 65歳集団健診受診者	17,800 人 【内訳】 65歳特定健診個別健診受診者 2,100 人 65歳国保加入者で特定健診未受診者 6,300 人 65歳神戸市国保被保険者以外 9,400 人
実施場所 回数等	市民健診集団健診会場等 718 回／29 年度	薬局 29 年 10 月 350 ヶ所
開始時期	29 年 4 月	29 年 8 月
実績	775 人 (a)	541 人(b)、実施薬局数 206 ヶ所
実績合計	集団健診会場(a)+薬局(b)=1,316 人 イベント：健康創造都市 KOBE、こうべ福祉・健康フェア、その他 200 人 計 1,516 人	

4. 今後の事業検討について

フレイルチェックの在り方や、その活用に関する評価・検証については「神戸圏域地域医療構想調整会議 地域包括ケア推進部会」に設置した「介護予防専門部会」（座長：近藤克則千葉大学教授、アドバイザー：飯島勝矢東京大学教授）において、検討を進めていく。